

主な出来事

【内政】

- 国民対話の実施に向けたアドホック委員会の開会
- 経済社会評議会の新会期開始
- 国民教育省による教員給与支払いの一時停止及び除名措置

【外政】

- 欧州議会によるガボン大統領選挙に係る決議の採択
- 第13回CEMAC定期首脳会議の開催
- ボンゴ大統領によるECCAS事務局長との会談

【経済】

- モアンダのマンガン加工複合施設：2016年総生産量の発表
- IMFミッションによる当地訪問

【内政】

1 第31回アフリカ・ネーションズ・カップの閉会式の開催

5日、アリ・ボンゴ大統領は、アンゴンジェの中国・ガボン友好スタジアムにて開催された第31回アフリカ・ネーションズ・カップ閉会式にて、優勝国のカメルーン代表団にトロフィーを授与した。（6日付UN）

2 UN立党7周年記念式典の開催

11日、国民連合（UN）立党7周年記念式典にて、ミボトUN代表は、同党による国民対話への参加は、アリ・ボンゴ政権の正当化に繋がるとして、不参加を表明した。（13日付UN）

3 UPGムブンバ派代表による国民対話への参加呼びかけ

10日、ガボン国民連合（UPG）ムブンバ派代表は、記者会見にて、アリ・ボンゴ大統領による国民対話に全ての政治関係者が参加するよう呼びかけた。（14日付UN）

4 DN代表による国民対話への参加呼びかけ

新民主主義（DN）代表は、党会合にて、選挙システムの改善、同国制度システムの強化に向けて、アリ・ボンゴ大統領による国民対話に参加する旨発表した。（14日付UN）

5 国民対話の実施に向けたアドホック委員会の開会

15日、イソゼ・ンゴンデ首相は、国民対話の実施準備に向けて、アドホック委員会を開催した。同委員会は、20日までに、次期国民対話の形式、期間、内容等について策定し、現在まで、与党ガボン民主党（PDG）他約50の政党が参加し、3月2日、同委員会にて採択された最終報告書が、アリ・ボンゴ大統領に提出された。（16日付、3月2日付UN）

6 経済社会評議会の新会期開始

21日、イソゼ・ンゴンデ首相臨席のもと、経済社会評議会（CES）の新会期が開始された。同会期では、市民生活に及ぼすソーシャルメディアの影響、女性の自立化、ガボンにおける不良医薬品の違法輸送ほか、経済面では、経済成長の鈍化、政府予算の縮小、石油セクターの停滞、失業率の悪化等について議論が行われる。（22日付UN）

7 国民教育省による教員給与支払いの一時停止及び除名措置

小中学校教員によるストライキを受け、国民教育省は、2017年2月から教員807名の給料支払い停止、オグエ・イビンド州の教員19名の除名を決定した。（22日付UN）

【外政】

1 欧州議会によるガボン大統領選挙に係る決議の採択

2日、欧州議会は、賛成553票により、アリ・ボンゴ政権及びコンゴ(民)のカビラ政権による人権弾圧を非難し、両国のすべての政治拘留者の解放を要請した。また、同議会議員は、暴力行為、人権侵害、不当逮捕、不法勾留、政治的恐喝等を非難したうえで、客年のガボン大統領選挙の結果に関して、透明性を欠き、極度に疑いの余地があるとして、アリ・ボンゴ大統領の正統性に疑義を呈した。（3日付UN）

2 ガボン・レバノン協力

7日、ムベレ・ブベヤ外相及びバッシル・レバノン外相は、外交協議に関する協定に署名した。同協定署名に基づき、経済、文化、科学等に係る二国間・多国間協力について協議が行われる。（9日付UN）

3 リーブルビル・アレクサンドリア姉妹都市協定

11日、リーブルビル市長は、エジプトのアレクサンドリア市長との間で、姉妹都市協定に署名した。同協定に基づき、教育、保健、観光、農業、文化、報道といった優先分野での協力が実施される。（16日付、17日付UN）

4 第13回CEMAC定期首脳会議の開催

17日、赤道ギニアのジブロオにて第13回中部アフリカ経済通貨共同体（CEMAC）定期首脳会議が開催され、ガボン及び赤道ギニアが域内自由通行適用を決定したほか、CEMAC議長国が赤道ギニアからチャドに移行された。次回第14回定期首脳会議はチャド・ンジャメナで開催される予定。（19日付UN）

5 ボンゴ大統領によるECCAS事務局長との会談

24日、アリ・ボンゴ大統領は、アハマド・アッラームミ中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS）事務局長と会談し、ECCASの課題、改革の必要性、CEMACとの協働、中部アフリカ地域の治安・政治情勢について議論した。（25日付UN）

【経済】

1 ボンゴ大統領によるGRAINE収穫キャンペーンの開始

7日、アリ・ボンゴ大統領は、2015年3月にオグエ・イビンド州の共同プランテーシ

ヨンにて開始した地方農業振興政策（GRAINE）収穫キャンペーンに参加した。（8日付UN）

2 モアンダのマンガン加工複合施設：2016年総生産量の発表

モアンダのマンガン加工複合施設は、2015年の総生産量に比べ、47、2%増の15、935トンの生産を記録した。（10日付UN）

3 ガボン農作物輸入額：3、700億CFAフラン

農業省の統計によれば、ガボンの農作物輸入額は、2008年の2、000億CFAフランから3、700億CFAフランに増加した。（10日付UN）

4 2016年対外貿易関係

2016年9月末までの貿易総額のうち中国との貿易額は、前年の12.3%から18.4%に増加し、ガボンの貿易相手国第1位を記録した。また、総輸出額のうち、ガボンは中国に対し23.1%を輸出しているほか、トリニダード・トバゴ、イタリア、オーストラリアに対する輸出が、それぞれ13.2%、10.2%、8.5%を占めている。（14日付UN）

5 Maurel&Promによる2016年第4四半期決算発表

Maurel&Promの2016年第4四半期決算は、ガボンにおける石油生産量の増加を理由に、前年に比べ15%増の3億1、700万ユーロとなった。（15日付UN）

6 IMFミッションによる当地訪問

13日から3週間、IMFミッションがガボンを訪問し、経済再建、投資・経済成長の維持を目的に、同国の経済状況について分析が行われる。（16日付UN、16日付GR）

7 ガボン経営者連盟選挙の実施

24日、ガボン経営者連盟（CPG）議長選挙が実施され、アラン・バ・ウマル候補が選出された。（25日付UN）

8 緑の機構基金によるガボン支援：1、870億CFAフラン

23日、緑の機構基金は気候変動対策の枠組みで、ガボンに対して1、870億CFAフランの補助金助成を決定した。（25日付UN）

出典：PR(大統領府公式HP)、UN(ユニオン紙)、GM(ガボン・マタン紙)、GN(ガボン・ニュース電子版ニュース)、AFP、GA(Gabonactu.com)、GR(ガボン・レビュー電子版ニュース)、LG(ル・ガボン電子版ニュース)、GE(ガボン・エコ電子版ニュース)、AFP(フランス通信社)、GL(ガボンリーブル電子版ニュース)、AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス)、LP(LOUP紙)、EN(エコー・ノール紙)